

吾々小作人は食へないのに一方では地主の倉庫にまた政府の倉庫にあり餘つてゐると言ふのは一体何故かそれは地主が高い小作米を搾り取つてゐるからだ
農民組合では十年間小作料減免を主要題目として闘つてきたのであるが打續く不景氣によつて吾々は喰えなくなるばかりであるから「食えないから小作米をマケロ」と勇敢に闘かわねばならぬ

實行方法

小作米減免闘争同盟、小作米マケロの會等未組織農民も含めて闘争し尙ほ地主別の闘争によつて一地主に關係ある小作人全部を闘争に起たせねばならぬ
小作米減免と言へば秋の收穫期になつてから突然未組織農民に働きかけると言ふやうな方法であつたために未組織農民を闘争

に起ち上らせることが困難であつたそれで、かかる方法を改めて春の肥料買入れ部落にふけゝる日常問題、村税借用組合の借金之差押等についても充分に援助し密接な關係と信頼をつなぎ秋の收穫期を前にビラ傳單座談會による宣傳によつて闘争へ起たしむべきである

立入禁止―土地引上―反對闘争の件 三輪村支部提案

理由

小作人が土地を耕作することによつてのみ食しいながらも一族の生活を支へてゐることは言ふまでもない而るに最近地主の土地引上は激増し吾々小作人の生活を脅威してゐるのである
農林省發表（官廳の統計など余りアチにならぬが）によると昭和八年一月から九月までの土地引上の件数が一千六百九十七件で總件数の六三・一％を占め昭和六年の三八％に比較すると驚